

単元名 (選択単元) 原野に水を引く

配当時間 13時間

単元の目標 (1) 地域の人々の願いや生活の向上と先人の働きや苦心を理解し、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を見学・調査し、調べたことをまとめることができる。
 (2) 地域の発展に尽くした先人の働きに着目し、地域の人々の願いや生活の向上に対する先人の思いや苦心について考え、紙芝居などに表現することができる。
 (3) 地域の発展に尽くした先人の働きについて問題意識をもち、意欲的に追究するとともに、地域に住む一員として地域社会のよりよい発展を考えようとする。

標準的な展開例

04030204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 木曽三川の治水工事について話し合い、単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を基に、木曽三川の様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 三つの川の様子 川に囲まれた輪中などの土地利用 現在と宝暦当時の木曽三川を比較し、疑問に思ったことを発表し合い、単元の学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 現在の木曽三川の川の形状 輪中と中州の点在 <p>★どのような思いで治水工事が行われたのだろうか</p> <p>2 治水工事に尽くした人々の働きや願いを予想し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当時の治水工事への取組を予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 自分が住む場所を守ろうとたくさんの人が働いた 洪水がよく起きて命が危険だった 工事をすることで安心して生活ができるようにしたい 予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 調べる内容…昔と今の木曽三川の違い、人々の願いや工夫 調べる方法…木曽三川公園、郷土資料館の見学、学芸員・指導員への聞き取り調査、副読本、市(町)誌、年表各種資料の活用 表現の方法…紙芝居 <p>3～6 木曽三川公園を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 治水工事の意味を知る。 工事の方法を見学・調査する。 <ul style="list-style-type: none"> 技術、道具、材料、工事費、人手、日数 工事の仕方について現在の方法と昔の方法とを比較し、昔の治水工事の苦労や工夫について考える。 地域の人々が安心して暮らせるようになるまでの工夫や努力を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 水屋などの洪水対策 輪中切り開き、移転、堤防の整備 <p>7 治水工事の目的や人々の願いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 治水工事をする目的を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 命を守る、米作り、安心して暮らせる 治水工事の前後の暮らしの変化から、昔の人々の願いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> これで洪水に不安になる生活をしなくてもいい 苦労して工事したからこれからは村を大切にしていきたい 昔の人々が努力したから今の安心な暮らしがあるんだね <p>8～11 昔の人の治水工事への願いや工夫、意気込みを紙芝居にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を提示する際、地形の特徴やそこから考えられることを発表させたい。 木曽三川の歴史と河川の形状の変化を理解させ、昔の人が治水工事を必要としていたことを気付かせる。 今と昔の河川の様子の違いから、昔の治水工事の工夫や人々の願いへの疑問をもたせる。 <p>・治水工事を探るとき「誰が」「何のために」「どのように」という3つの視点を示すとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の発展に尽くした人々の業績を中心に学ぶことで、先人の働きと地域の人々の生活の向上とを関連付けて考えさせる。 見学調査できない場合は、電話での聞き取り調査、手紙やファクシミリを用い、質問ができるようにする。 インターネットを利用した調査もできる。 <p>【評】治水工事に尽くした人々の働きや願いを予想する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宝暦治水は、江戸幕府から薩摩藩が命じられたこと、それを平田靱負が責任者として工事にあたったことを知らせる。 宝暦治水後も洪水が続く、明治政府によりオランダ人のヨハネス・デ・レーケが治水工事に携わったことを知らせる。 治水工事のために、平田靱負が苦心して工事に使う材料とお金を集めたこと、たくさんの命が失われたこと、地域の発展に尽くしたことを確認させる。 <p>・水害が起きても自分の家を守るための工夫をして暮らしていたこと、自分の住んでいる家や地域を手放すことがあったこと、たくさんの人の協力・理解があったことを知らせる。</p> <p>【評】調べたい内容に着目して見学する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の発展に尽くした人々の願いと当時の問題点、その人の業績、当時の活動の様子、その人の苦心や工夫、人々の喜び、その後の生活の向上や影響について調べ考えるようにさせる。 <p>【評】当時の人々の願いについて話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p>

<p>○調べて考えたことを基に，紙芝居にまとめる。</p> <p>12～13 単元のまとめをし，学習の振り返りをする。</p> <p>○紙芝居を発表し合う。</p> <p>○強い信念をもって情熱を傾け，よりよい生活を求めて努力し，治水工事に貢献した先人の努力についてまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの願いを実現するためには多くの苦労があるが，それらを乗り越え実現させた喜びの大きさは計り知れないことに気付かせる ・治水工事に携わった人の思いが伝わるような紙芝居作りに取り組めるように紙芝居を作る観点を確認してから作成させる。 <p>【評】治水工事について調べたことを工夫してまとめる活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が，よく分かったことや気付いたことを簡単に感想として伝えさせる。 <p>【評】紙芝居を発表したり，まとめたりする活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先人の努力によって，現在の生活が成り立っていることに気付かせ，地域への理解を深めるとともに，地域への愛着をもつことができるように指導する。
---	---

【 備 考 】
 本単元は，開発，教育，医療，文化，産業などの地域の発展に尽くした先人の中から，開発を選択して取り上げる。